

# 1 私たちの鹿児島県について知ろう!

## -2 統計データを見てみよう



地域（ちゆうき）の特性（とくせい）から私たちの住む鹿児島県（かごしまけん）が土砂災害（どささいがい）を受けやすいことがわかりましたか？  
では、実際どのくらいの土砂災害（どささいがい）が起きているのでしょうか？  
他の地域（ちゆうき）と比べてみましょう。

### 土砂災害は鹿児島県に多い!!



このグラフは、過去34年間の土砂災害（どささいがい）の発生した数です。  
鹿児島県（かごしまけん）の土砂災害（どささいがい）発生件数は、全国で1位です。

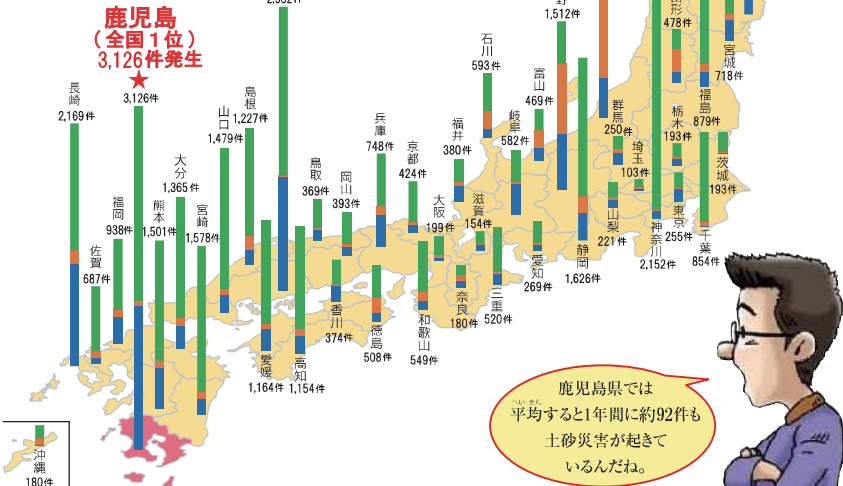
#### 都道府県別土砂災害発生件数

(平成元年～令和4年)

※雲仙普賢岳噴火災害(平成3年～平成7年)による災害発生件数を除く。

■ かけ崩れ  
■ 地すべり  
■ 土石流

※数字は合計件数



鹿児島県では平均すると1年間に約92件も土砂災害（どささいがい）が起きているんだね。



鹿児島では、今までに人の命（いのち）を奪う災害（さいがい）が何回も起きているんじゃない。平成5年の災害（さいがい）では、土砂災害（どささいがい）によって105人も命（いのち）が奪われたんだ。

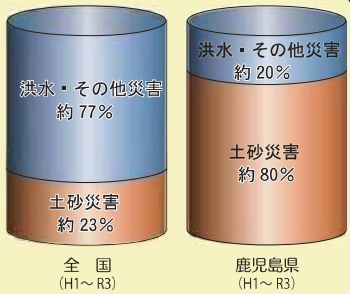


### 鹿児島県は土砂災害の被害が多い!!



このグラフは、犠牲者（ぎせいしゃ）がでた自然災害（しぜんさいがい）の中で、土砂災害（どささいがい）がどのくらいあるかを調べたものです。  
鹿児島県（かごしまけん）では、土砂災害（どささいがい）による犠牲者（ぎせいしゃ）の割合（わりあひ）がとても高いことがわかります。

◆犠牲者（ぎせいしゃ）がでた自然災害（しぜんさいがい）の中で土砂災害（どささいがい）が占める割合



鹿児島県では、洪水（こうすい）、地震（ちゆうしん）、津波（つな）などの自然災害（しぜんさいがい）の中で、土砂災害（どささいがい）の被害（ひがい）が一番多いんだって。

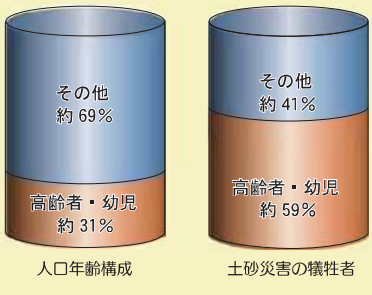


### 土砂災害の犠牲者は、高齢者(65歳以上)や幼児(5歳以下)が多い!!



このグラフは、土砂災害（どささいがい）による犠牲者（ぎせいしゃ）の中で、高齢者（こうれいしゃ）や幼児（ようじ）がどのくらい含まれているかを調べたものです。  
人の力を借りなければ避難（ひなん）できない高齢者（こうれいしゃ）や幼児（ようじ）の割合（わりあひ）が、高くなっていることがわかります。

◆鹿児島県における土砂災害被害者（ひがいしゃ）のうち高齢者（こうれいしゃ）や幼児（ようじ）の割合（わりあひ） (H21~H25)



高齢者: 65歳以上  
幼児: 5歳以下



私たちのまに多い土砂災害（どささいがい）。土砂災害（どささいがい）とは何か、さらにくわしく見てみましょう。

ほくたちの住む鹿児島県（かごしまけん）って、本当に土砂災害（どささいがい）が多いんだね！もう自分と関係ないとは言ってられないな！

